

指導普及

1 養殖指導

県内の養殖業者に対し巡回指導を行うと共に、随時魚病診断及び治療、水質環境調査、養殖技術情報伝達等を行った。

(1) 養殖業者指導

マス類養殖業者 35 経営体、ニシキゴイ養殖業者、その他魚類養殖業者 14 経営体を巡回し、飼育環境を点検すると共に養殖技術に関する指導を行った。

(2) ビブリオ病ワクチンの使用に関する指導

ビブリオ病ワクチンの使用に際し、業者からの申請を受け、現地調査及び魚病検査を行い、使用指導書を発行した。平成 21 年度の使用指導書発行は、ニジマスが 10 件（5 経営体、169 リットル）であった。

(3) KHV 病対策

○ KHV 病発生状況

平成21年度はコイの斃死情報がなく、一次診断は行わなかった。

○ KHV 保菌検査

ニシキゴイ業者5経営体、50検体について、農林水産省が示した特定疾病ガイドラインに準拠し、PCR法を用いて一次診断を行った。その結果、すべての検体がKHV陰性と診断された。また、当所で生産した出荷用のマゴイ60検体についても同様に一次診断を行い、すべての検体でKHV陰性と診断された。

(4) 輸出錦鯉衛生証明の発行

山梨県輸出錦鯉衛生証明事務取扱要領に基づく、輸出衛生証明書発行ガイドラインのリスト掲載養殖場は5件で、これらの養殖場に対して次のとおり衛生証明書を発行した。

輸出国名	件数 (件)
アメリカ	5
イギリス	4
ドイツ	6
計	15

(1) 魚病診断件数

平成 21 年 1 月から平成 21 年 12 月に、当所に持ち込まれた検体および現地で採取した検体について魚病診断した結果は次のとおりである。

	ニジマス	ヤマメ	アマゴ	イワナ	ヒメマス	アユ	ニシキゴイ	コイ	キンギョ	合計
1. IHN	6	3								9
2. KHV										0
3. OMV										0
4. せつそう病		1	1	1						3
5. ビブリオ病	2	1								3
6. 細菌性鰓病										0
7. 細菌性腎臓病		1								1
8. 冷水病	1			2		2				5
9. 運動性エロモナス症										0
10. 連鎖球菌症	2									2
11. カラムナリス症										0
12. 穴あき病										0
13. イクチオフォヌス症	2									2
14. 胃鼓張症										0
15. 内臓真菌症										0
16. キロドネラ症										0
17. 白点病										0
18. 細菌性白雲症										0
19. イクチオボド症				1						1
20. ギロダクチルス症										0
21. ダクチロギルス症										0
22. トリコディナ症										0
23. グルゲア症										0
24. チョウ症										0
25. テトラオンクス症										0
26. コスチア症										0
27. ヘキサミタ症										0
28. 水カビ病		1								1
29. 水腫症				1						1
混合感染										0
1+8	4									4
1+5+8										0
4+6				1						1
4+8										0
4+27										0
6+26										0
7+8				1						1
16+17										0
不明	2		1	1		1				5
合計	19	7	2	8	0	3	0	0	0	39

2 増殖指導

河川湖沼の漁協等に対して増殖に関する指導を行うとともに、随時環境調査や増殖技術情報の伝達を行った。

(1) 漁協指導

月日(回数)	対象(人数)	内容	担当
11月16日	峡東漁協 (6)	アユ漁業の経営改善について	大浜 坪井
12月11日	峡北漁協 (20) (峡北漁協講習会)	小武川人工産卵河川について 水産技術センター産アユ種苗の特性について 放流アユの定着性に及ぼす砂の影響について	岡崎 三浦 坪井
4月1日～ 6月30日 (15回)	河口湖漁協 (延べ30)	ワカサギ初期給餌試験他	岡崎 三浦 羽田
7月29日	河口湖漁協 (20)	地曳網による生息魚類調査	岡崎
8月19日	河口湖漁協 (20) (河口湖漁協理事会)	河口湖におけるワカサギ漁業の現状と課題について	岡崎
10月6日, 1月5日	峡東漁協 (延べ15)	溪流魚の人工産卵場整備及び産着卵の計数	岡崎 坪井 芦沢
1月29日～ 3月3日 (3回)	河口湖漁協 (延べ15)	ワカサギの自家採卵他	岡崎

(2) 関係機関指導

月日(回数)	対象(人数)	内容	担当
4月29日	NPO 富士おしの名水倶楽部, 忍野村役場他 (70)	ホトケドジョウ繁殖池造成について	大浜 加地
7月22日	鳥取県野生鳥獣害対策担当者	カワウ対策	坪井 芦沢
9月8日	砂防課, 治山林道課, 富士川 砂防事務所(30)	透過型堰堤の魚道効果に関する調査結果説明会	大浜
9月24日～ 10月9日 (6回)	中北(峡北)・峡東・峡南・ 富士東部(吉田)建設事務所, 中北・峡東・峡南・富士東部 林務事務所(延べ120)	透過型堰堤の魚道効果に関する調査結果説明会	大浜
11月6日	全国内水面漁場管理委員会 連合会中日本ブロック協議会 (31)	山梨県におけるアユの種苗生産について	三浦
12月22日	奈良県野生鳥獣害対策担当者	カワウ対策	坪井 芦沢
2月9日	関東ブロック内水面担当者 会議 (10)	山梨県におけるアユの種苗生産について	三浦

3 普及

(1) 講習会の開催

- 第1回養殖技術講習会 平成21年11月18日 富士吉田市 富士吉田合同庁舎会議室
「魚病対策の基本を見直そう」 元長野県水産試験場長 本西 晃
- 第2回養殖技術講習会 平成22年1月21日 甲斐市 県漁連水産会館
「カテキンによる卵膜軟化症対策及び魚病に対する話題について」 研究員 名倉 盾
「最近のKHV病に関する情報」 研究員 三浦正之
- 増殖技術講習会 平成21年7月9日 甲斐市 県漁連水産会館
「カワウの効果的な被害防除に向けて ～現状と課題～」 長岡技術科学大学 助教 山本麻希

(2) 水産技術センター便りの発行

県内水産関係者向けに、山梨県水産技術センター便り No.50, 51 を発行した。

(3) 行事等への協力

- 4月29日 ホトケドジョウ繁殖池造成 協力
- 5月27日 放流キッズ大作戦（山中湖）講師
- 6月1日 放流キッズ大作戦（河口湖）講師
- 6月5日 放流キッズ大作戦（西湖）講師
- 6月13日 甲斐駒清流懇話会ウォーク 甲斐駒清流懇話会 協力
- 8月2日 魚の話 水辺の探検 講師
- 8月7日 山梨の水産親子体験ツアー 協力
- 8月9日 エコアクション2009in忍野 協力
- 8月15日 田草川環境調査 講師
- 8月15日 河川環境教育 白州町台が原区 講師
- 8月27日 砂防郊外授業 甲斐駒清流懇話会 講師
- 10月10日 大正池 外来魚駆除 協力
- 10月22日 荒川河川環境教育 千塚小学校総合学習 講師
- 11月14日 山梨県錦鯉品評会 審査委員
- 11月12日 東海大学採卵実習 協力

(4) 新聞雑誌への掲載等

月日	新聞雑誌名	内容
4月23日	毎日新聞	アユの稚魚出荷最盛期迎える
4月23日	山梨日々新聞	はじける銀りん～稚アユ出荷最盛期～
4月23日	産経新聞	「元気に育って」アユの稚魚放流
4月24日	日本農業新聞	放流用アユ出荷大忙し
8月5日	日本農業新聞	アユ産卵を電照制御～養殖・放流向け一手に～
9月4日	山梨日々新聞	忍野・ホトケドジョウ“復活”～手作りの繁殖池でスイスイ～
10月21日	山梨日々新聞	アユふ化へ採卵ピーク
10月22日	日本農業新聞	ため池の外来魚住民と駆除作戦
11月21日	山梨日日新聞	魚の目線から溪流環境紹介
2月6日	山梨日々新聞	ワカサギ漁獲量安定へ技術発表
3月4日	山梨日々新聞	川面に弾ける銀りん～河口湖ワカサギ遡上ピーク～
3月8日	山梨日々新聞	ワカサギ漁復活の手応え～河口湖バス釣りメッカから転換～
3月12日	山梨日々新聞	天然魚の性質保存めざす～絶滅危ぶまれる「ヤマトイワナ」
3月31日	山梨日々新聞	富士河口湖・奥川ワカサギの大群遡上～黄色い卵、川底染める～

(5) 忍野支所の見学

忍野支所を小学校16校1,314人、高等学校1校100人、大学1校37人、教育委員会2件47名、合計20件1,498名が見学した。